

この大学で、
未来の社会につなげたい
ITの楽しさ、見つけました。

滝本 清仁 [託問電波工業高等専門学校
(香川県) 出身]



九 工大を選んだ最大の理由は就職率の高さ。単に就職できるからではなく、知識や技術はもちろん、人格面も含めて、社会に求められる人間がたくさん育つ環境があったからです。そんな環境で自分を鍛えたいなど。

そして高専から編入。私は、実験を通して制御システムや画像処理などを学ぶ「システム創成プロジェクト」に夢中になりました。他の授業時間でも画像処理のプログラミングを考えていました。そのくらい楽しかったですね。研究室に配属されてからは、研究一色の毎日。技術を極めたくて、プログラミングにひたすら打ち込みました。

卒業後はIT関係に就職します。大学時代に楽しみながら学んだIT技術で、これからの社会をデザインしていけたら嬉しいですね。

受験生の皆さん、具体的な夢や目標がある人もそうでない人も、小さな努力を積み重ねていけば、自分が楽しいと思える未来にきっと出会えると思いますよ。

大学に入ってからがスタート

古賀 純麗 [福岡中央高校(福岡県) 出身]



高 校生の頃から情報系の仕事に就きたいと思っていたので、情報系の国立大学で就職率も高く、企業との共同研究でも実績のある九工大を選びました。将来やりたいことが漠然としていた私にとって、ハードとソフト両方を学べるシステム創成という学科はとても魅力的でした。

1年生でプログラミングの楽しさと奥深さを知り、2年生で電子工学や信号処理など専門的な知識を習得し、3年生では実験を通して、グループでコミュニケーションをとりながら1つの目標に向かって取り組むことを学びました。4年生になると、自分が興味のあるテーマについて研究できるので、更に楽しくなってきます。将来は、公共的な分野で人々の暮らしに役立つシステムづくりに携わりたいと思っています。

受験生の皆さん、大学に入ってからがスタートです。大学で何を学びたいのか、ある程度ビジョンを持っているとよいと思います。じっくり考えてみてください。